

一般口演抄録

一般口演 1 (15:40～16:20)

座 長：服部 清先生（静岡市障害者歯科保健センター）

1. 障害者入所支援施設における 10 年間の口腔内状況の変化

○可知直剛¹⁾・橋本岳英¹⁾・安田順一¹⁾・片川吉尚¹⁾・玄 景華¹⁾・青木尚美²⁾・齋藤那美子²⁾・中嶋恵美子²⁾・高井良招³⁾

- 1) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野
- 2) 朝日大学付属病院歯科衛生部
- 3) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座高齢者歯科学分野

【緒 言】近年、福祉施設入所者の高齢化に伴い障害者の口腔管理への関心が寄せられている。今回、某障害者支援施設における 10 年間の口腔内状況および衛生状態を報告する。

【対象および結果】対象施設は、2000 年 4 月に開所した知的障害者支援施設である。当科では当該施設において口腔検診、口腔衛生指導や歯科診療を行っている。対象者は 2000 年から 2009 年まで同施設に入所していた 42 名（男性 20 名、女性 22 名）で、平均年齢 50.6 歳（2009 年）であった。2000 年における平均 D 数は 0.55 本、平均 M 数 4.61 本、平均 F 数 6.93 本、平均 PCR42.3%であった。2009 年における平均 D 数 0.17 本、平均 M 数 6.86 本、平均 F 数 8.12 本、平均 PCR36.8%であった。

【考 察】欠損歯数の増加は障害者の高齢化による歯周炎の進行が推測され、未処置う蝕歯数の減少と処置歯数の増加は歯科治療の結果と考えられる。

2. 静岡県における障害者歯科の取り組み

○井川利幸

静岡県歯科医師会 地域保健部

静岡県が障害者歯科に取り組み始めたのは、平成 10 年からで比較的最近のことです。この事業では「障害者歯科相談医」の養成を実施しています障害者が、できるだけ近隣の歯科医院で受診できることを目標にしています。その対応は「行動変容」を主としています。しかしながら、一般の開業医では治療困難なケースもあり、地域で紹介できる医療機関との連携を構築する「障害者歯科モデル地域」事業も同時に開始しました。

現在では県歯会会員の 2 割以上が、「障害者歯科相談医」として登録されています。また昨年より、障害者施設での歯科検診表の統一と各種アンケートを実施して、県内の医療圏域ごとに障害者歯科の地域診断に取り組み始めました。同時に予防の観点から障害者の歯科保健指導に関わる歯科衛生士の養成の研修会を県の委託事業として始めています。

3. 三重県歯科医師会障害者歯科センターの現況とネットワーク事業の紹介

- 武山 一・鈴木俊行・福田幸弘
社団法人 三重県歯科医師会

【はじめに】三重県歯科医師会では平成元年より三重県の委託を受けて障害者歯科センターを開設した。初年度 89 名であった受診者は、平成 20 年には 380 名と増加し、この 20 年間に障がい者に対する医療環境も大きく変化し、地域医療の拠点として会員や高次医療機関との機能分担と連携システムを確立する必要性が生じてきた。

【ネットワーク事業設立までの経緯】平成 20 年より「地域障がい児（者）歯科ネットワーク事業打合せ会」を 8 回、「病院歯科連絡調整会議」を 2 回開催し、障がい児（者）や保護者、施設でのニーズを把握するためアンケート調査を行った。

【みえ障がい児（者）歯科ネットワーク(通称：みえ歯ートネット)の設立】障がい児(者)がより身近な歯科医院で治療が受けられるように、必要に応じてより専門的な治療が受けられるようにという目的で、平成 22 年 4 月 1 日より「みえ歯ートネット」が始動した。

4. 障害者施設への巡回歯科保健サービス事業について —事業展開と歯科疾患の状況報告—

- 中畠誠治¹⁾・乗松隆行¹⁾・萩谷勲信¹⁾・高木宣雄¹⁾・水野明広¹⁾・高木幹正¹⁾・
玄 景華²⁾
1) 岐阜県歯科医師会
2) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野

岐阜県歯科医師会では、県内の地域住民に対する歯科保健活動の普及・拡大、また障害者施設の入所者および通所者に対する口腔保健の向上を目的として、昭和 42 年より巡回歯科保健サービス事業を行っている。当事業には県委託事業である障害者施設巡回歯科健診事業と岐阜県歯科医師会事業である地域歯科保健支援事業と障害者施設巡回歯科保健診療事業がある。

事業は、当県歯会より巡回診療バス「けんし 8020 号」にて施設あるいは市町村に出向き、歯科健診、歯科保健指導、予防処置、歯石除去あるいは応急的歯科処置を行っている。特に障害者施設巡回歯科保健診療事業においては現在県下の約 23 障害者施設に入所あるいは通所している障害者に対して積極的、継続的にブラッシング指導ならびに歯石除去を行っている。

今回、市町村および障害者施設への事業展開について現状を報告するとともに、今後の課題について考察する。さらに平成 21 年度に行われた成人歯科疾患実態調査において調査対象を障害者施設入所者にも拡大し、歯牙、歯肉および口腔清掃の状態について調査を行ったので、障害者の口腔疾患の状況も併せて報告する。

一般口演2 (16:30～17:20)

座長：藤井 航先生 (藤田保健衛生大学七栗サナトリウム)

5. 愛知県歯科医師会の「障害者歯科医療ネットワーク推進事業」の紹介 —障害者歯科認定協力医制度について—

- 朝比奈義明・本多豊彦・富田喜美雄・小島広臣・吉田 健・藤田尚臣・芥川裕規・富田健嗣・中井雅人・神谷繁彦・糸山 暁・小川直孝
社団法人 愛知県歯科医師会

【緒言】障害者の地域への回帰が図られていることから、本事業は、愛知県より愛知県歯科医師会に委託された事業で、厚労省が提起している「地域内で、各医療機関が患者に治療開始から終了まで全体的な治療計画を共有する」という「地域完結型の医療」を目標としている。

【制度】研修会6回・臨床実習3日間、摂食・嚥下実習、移乗訓練の実習を1日行い合計で4回とした。臨床実習医療機関は、愛知学院大学附属病院・愛知県心身障害者コロニー・豊田市こども発達センター・朝日大学歯学部附属病院に協力を依頼した。

【結果】修了後のアンケート調査で、研修の満足度は「かなり良かった」が31%、「良かった」が69%であった。また、全員が今回の研修制度を「今後も継続するべき」と回答した。

【考察】従来の講義中心の研修会と異なり、臨床実習により講義内容が一層具体化されると考えられる。今後はより実践的な研修会・臨床実習を行えるようなシステムの検討を考えている。

6. 要介護高齢者・障害者の歯科診療室での安全な移乗への考察 —特にボディメカニクスから—

- 富田喜美雄¹⁾・吉田 健¹⁾・富田健嗣¹⁾・藤田尚臣¹⁾・中井雅人¹⁾・神谷繁彦¹⁾・小島広臣¹⁾・朝比奈義明¹⁾・芥川裕規¹⁾・糸山 暁¹⁾・若林なを子²⁾・本多豊彦¹⁾・小川直孝¹⁾

- 1) 社団法人 愛知県歯科医師会
2) 愛知歯科医療センター

【緒言】要介護高齢者・障害者の歯科診療の現場では、車椅子からの移乗をする事は少なくはない。しかし診療スタッフ側が、安全に配慮した移乗の基礎的知識を十分に習得しているとは言い難い。今回我々は、移乗に関する問題点を探るため、アンケートを集計分析し、ボディメカニクスに基づく移乗訓練実習を動画にて具体例を提示する。

【アンケート結果】問題点やトラブルを体験した割合は50.6%で、診療チェア一周囲までの移動時に全トラブルの54.8%を占めた。車椅子から診療チェアへの移乗時に起こった怪我のうち42.9%が術者側に起こっている。移乗訓練の必要性について90.2%の者が必要であると回答した。

【考 察】今回のアンケート調査により、不慣れで力任せの移乗・移動は、患者・診療スタッフ双方に転倒・怪我・骨折等の原因となるなどの多くの問題点を含んでいる事が明らかとなった。今後は、移乗訓練実習を積み重ねて行く事が望ましいと思われる。

7. 主として医療的ケアを要する重度障害者に対する歯科衛生士の対応 —安全な口腔ケアのための事前情報収集について—

○松井かおる・戸田文世・鴨狩たまき・加藤 篤・石黒 光
愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科

【緒 言】在宅で医療的ケア等を要する重症者の増加について昨年の本学会総会で報告した。これらは口腔ケアのリスクが高く、安全なケアのために現在当科で行っている診療やケア前の情報収集について報告する。

【方 法】大島分類1の40名を対象に、リスク管理として医療的ケア等の種類、日常的なむせ、口腔や気管吸引の頻度、呼吸トラブル、姿勢等を、保護者に問診して情報収集した。

【結 果】

年齢は2～74歳で、誤嚥症状と呼吸症状に注目し、4段階でリスク評価した結果、高リスク群12名、やや高リスク群8名、中リスク群13名、リスク群7名であったが、診療やケア現場では必ずしもこの順でリスクが高いとはいえなかった。

【考 察】呼吸や誤嚥のリスクを伴う患者の口腔ケアにおいて、事前に得た情報を安全なケアに活用することは重要である。気管切開や経管栄養者以外の患者でもリスクが高い例があるなど、正しいリスク評価により事故防止する事が重要と考えられた。

8. 急性期総合病院に求められる口腔ケアについて

○岡本瑞乃¹⁾・岡本 彩¹⁾・岡崎奈緒美¹⁾・福永暁子²⁾
1) 聖隷浜松病院リハビリテーション部
2) 聖隷浜松病院リハビリテーション科歯科

【目 的】当院歯科は入院患者の口腔管理を目的として設立された。急性期病院という特色から特に口腔ケアが重要と考え、啓発活動を行ってきた。現在、院内の口腔ケアを統一化するための活動を行っている。病棟の現状・ニーズに合った口腔ケア方法を提供するため、口腔ケアの実態調査を行なった。

【方 法】病棟ナースに対して、口腔ケアに関するアンケート調査を行なった。また、歯科介入患者について、歯科衛生士による調査を行なった。

【結 果】病棟ナースへの調査では、口腔ケアの実施率は高いが、ケア時間は短いことが分かった。多くの場合、自立している患者については把握されていなかった。

歯科衛生士の調査では、口腔乾燥・開口困難・残存歯数が多い等の場合に口腔ケアが困難であった。

【考 察】急性期病院では、短時間で効率的な口腔ケア方法を提案する必要があり、実際には、乾燥の軽減、道具の選択・使い方の指導等が有効ではないかと考えられた。

9. 障害者歯科におけるアレルギー患者の現状

○伊藤正樹^{1) 2)}・松本 侑^{1) 2)}・山内香代子³⁾・加藤孝明^{1) 2)}・岡本卓真^{1) 2)}・佐々真由子^{1) 2)}・福田 理^{1) 2)}

- 1) 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座
- 2) 愛知学院大学歯学部附属病院障害者歯科診療部
- 3) 愛知県青い鳥医療福祉センター歯科

【研究対象・方法】2001～09年の歯学部附属病院障害者歯科初診患者1,147名を対象にアレルギー患者について調査した。また、1998～2009年の重症心身障害児入所施設内の歯科初診患者1,187名を対象にラテックスアレルギー患者数とその概要を調べ、歯学部附属病院と比較した。

【結 果】歯学部附属病院では24%の患者がアレルギーを合併しており、内訳はアレルギー性鼻炎 36%、アトピー性皮膚炎 19%、喘息 17%、薬物アレルギー16%などであった。同病院のラテックスアレルギーは2名(初診患者の0.18%)、重症児入所施設では6名(同0.51%)で、後者では前者に比較して有意に発現率が高かった ($p < 0.05$)。2施設の同アレルギー患者8名は全員、脳性麻痺、二分脊椎、水頭症などの合併症を有しており、この内2名は歯科初診時にはアレルギーが判明しておらず、歯科通院期間中に診断された。

【まとめ】障害者歯科には多くのアレルギー患者が受診しており、特に重症児入所施設ではラテックスアレルギーの比率が高かった。

演題名一覧

一般口演1 (15:40～16:20)

座 長：服部 清先生（静岡市障害者歯科保健センター）

1. 障害者入所支援施設における10年間の口腔内状況の変化

○可知直剛¹⁾・橋本岳英¹⁾・安田順一¹⁾・片川吉尚¹⁾・玄 景華¹⁾・青木尚美²⁾・齋藤那美子²⁾・

中嶋恵美子²⁾・高井良招³⁾

1) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野

2) 朝日大学付属病院歯科衛生部

3) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座高齢者歯科学分野

2. 静岡県における障害者歯科の取り組み

○井川利幸

静岡県歯科医師会 地域保健部

3. 三重県歯科医師会障害者歯科センターの現況とネットワーク事業の紹介

○ 武山 一・鈴木俊行・福田幸弘

社団法人 三重県歯科医師会

4. 障害者施設への巡回歯科保健サービス事業について

—事業展開と歯科疾患の状況報告—

○ 中畷誠治¹⁾・乗松隆行¹⁾・萩谷勅信¹⁾・高木宣雄¹⁾・水野明広¹⁾・高木幹正¹⁾・玄 景華²⁾

1) 岐阜県歯科医師会

2) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野

一般口演2 (16:30～17:20)

座長：藤井 航先生 (藤田保健衛生大学七栗サナトリウム)

5. 愛知県歯科医師会の「障害者歯科医療ネットワーク推進事業」の紹介 —障害者歯科認定協力医制度について—

- 朝比奈義明・本多豊彦・富田喜美雄・小島広臣・吉田 健・藤田尚臣・芥川裕規・富田健嗣・
中井雅人・神谷繁彦・糸山 暁・小川直孝
社団法人 愛知県歯科医師会

6. 要介護高齢者・障害者の歯科診療室での安全な移乗への考察 —特にボディメカニクスから—

- 富田喜美雄¹⁾・吉田 健¹⁾・富田健嗣¹⁾・藤田尚臣¹⁾・中井雅人¹⁾・神谷繁彦¹⁾・小島広臣¹⁾・
朝比奈義明¹⁾・芥川裕規¹⁾・糸山 暁¹⁾・若林なを子²⁾・本多豊彦¹⁾・小川直孝¹⁾
1) 社団法人 愛知県歯科医師会
2) 愛知歯科医療センター

7. 医療的ケア患者に対する歯科衛生士の対応 —安全な口腔ケアへの情報収集について—

- 松井かおる・戸田文世・鴨狩たまき・加藤 篤・石黒 光
愛知県心身障害者コロニー中央病院歯科

8. 急性期総合病院に求められる口腔ケアについて

- 岡本瑞乃¹⁾・岡本 彩¹⁾・岡崎奈緒美¹⁾・福永暁子²⁾
1) 聖隷浜松病院リハビリテーション部
2) 聖隷浜松病院リハビリテーション科歯科

9. 障害者歯科におけるアレルギー患者の現状

- 伊藤正樹^{1) 2)}・松本 侑^{1) 2)}・山内香代子³⁾・加藤孝明^{1) 2)}・岡本卓真^{1) 2)}・佐々真由子^{1) 2)}・
福田 理^{1) 2)}

- 1) 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座
- 2) 愛知学院大学歯学部附属病院障害者歯科診療部
- 3) 愛知県青い鳥医療福祉センター歯科